

よっ葉だより

2021年
8月2日号
No.662

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860

群馬県 861

茨城県 862



寄り添う気持ち大切に！！

コープレディご紹介♪



私たちコープレディは、社員3名、パート4名で小山市内及び下野、野木地区を中心に配達しております。※社員3名（佐野・足利など遠方方面）毎日の業務としましては、朝の荷出しからスタートし車内の中に商品を積み込み一人一人の荷物を作る作業をします。各自、作業が落ち着いたらトラックの点検業務を行い、異常がないか朝に確認

します。その後朝礼をし、欠品や次週届け、産地変更などの連絡事項を伝えます。それぞれ準備が整え次第、皆様の所へ出発します。現地では決まったルート配送なのでお馴染みの担当者がお伺い致します！コロナ禍で、以前の様に長くおしゃべりができないのがとても残念です



積み込み作業



朝礼（間隔をあけての挨拶）

コロナ対策としましては各自アルコール消毒液を常備し、こまめな消毒を心がけています。尚、運転中のマスクを外すことや担当者による裾まくりなどお見苦しい点はございますが、熱中症対策にも取り組んでおりますので何卒、ご了承ください。



新人職員も配達中*



帰社後は、片付けをし明日の準備してから事務所に入り、手洗い・うがいを徹底しその後事務作業を行い1日が終了します。家庭と仕事で忙しい日々で大変ですが、主婦ならではの視点で皆様に寄り添える様、女性一同まごころをもって配達していきます。



帰社 今日も無事故！

よっ葉サービス 青木亮

陽あたり良好！よつ葉の太陽光発電をご紹介します♪

よつ葉だよりの4ページに、月に一度「よつ葉太陽光発電報告」が載るのをご存じですか？1か月分の太陽光発電量（kWh）と、自然エネルギーである太陽光発電によって、排出せずに済んだ二酸化炭素の量（CO2削減量）が報告されています。

よつ葉太陽光発電報告

○5月28日から年6月27日（31日間）の太陽光発電量は、19,316 kWhでした。CO2削減量は6,075kg（18Lの灯油缶を256本燃焼した量）です。



「旧棟(上)と新棟(下)の屋根に設置された太陽光パネル」



2011年の震災後、再生可能エネルギー推進のため「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」がスタートしたことを受け、よつ葉生協でも本部の日当たりの良い立地を生かそうと2014年3月に本部（小山市）の旧棟の屋根に太陽光パネルを設置し、太陽光発電を始めました。その後2018年に新築された新棟にも太陽光パネルを設置しました。

よつ葉の屋根で発電された電気は、一度「売電メーター」を通過して電線に送られます。この時、売電額が計算され、その収入が銀行口座に振り込まれる仕組みです。まだ蓄電池が高額すぎるため、よつ葉で発電した電気を直接使う仕組みにはできていません。

6月の発電量は、旧棟のパネルと新棟のパネルを合わせて、19,316 kWhでした。ちなみに6月の電力使用量は82,510 kWh、電気料金は1,549,783円、さすがに冷蔵・冷凍庫もフル稼働の配送センターを兼ねた本部ですので、電力使用量もそれなりですが、およそ4分の1弱を自給したことになります。また、売電額（収入）は677,554円でした。

6月のCO2削減量は60,75Kg—CO2/kWh。これは180缶の灯油を256本分燃焼して排出される量と同じです。頻発する豪雨災害などに温暖化を実感せざるを得ない今日、確かに削減できた二酸化炭素です。



「旧棟南端の荷受け室にあるモニターには毎日の発電状況が表示されています。」

屋根の上に設置された太陽光パネルは、真夏の日差しを遮り、建物内部の気温の上昇を2,3度抑えてくれる効果もあるそうです。山を切り崩してのメガソーラーシステムの設置による環境破壊が問題になっていますが、再生可能エネルギーによる発電がそのような巨額のお金儲けの手段ではなく、環境保全を真摯に考慮したエネルギーの自給と地産地消の手段として、広く普及することを願います。

（理事 堀）

よつ葉の食材で簡単レシピ

●時短でキムチをアレンジ

1. (包丁いらず)の豚肉(種類は何でもOK)を1パックを、「有機にんにく」のみじん切りと一緒にごま油で炒めます。
2. 1に季節のお野菜を一口大より少々小さめに切って加え、もう少し炒めます。
3. 「ミニもめん豆腐」150gを小さめのダイス状に切って加えます。
4. 火を止めて少し冷めたところでキムチを投入してまぜます。キムチは「趙さんの味」か「おらが自慢」の白菜キムチがおすすめです。
5. 塩少々で味を調えます。

☆季節の野菜は、夏は有機きゅうりがおススメ！他の季節は小松菜・キャベツ・長ねぎが合います。

☆洗い物が少ないので、片付けが楽ちん

☆キムチの乳酸菌を活かすために、キムチ投入後は火を通しません。

☆うちではこれをご飯の上にかけてキムチ丼にして食べます。おいしいですよ。

私はMSG*が苦手です。市販のキムチは添加物が多くて食べられません。でも、よつ葉のキムチは大丈夫！本当に助かっています。

（つくば委員会 黒澤）

8月4週 **393** 趙さんの味 熟成白菜キムチ

9月1週 **387** おらが自慢 白菜キムチ（川清商店）

●夏の一品に

あかもくとしらす干しを混ぜて、生姜のすり下ろしをお好みの量加え、ゴマ、胡麻油、ぼん酢で和える。納豆や紫蘇の葉を細かく刻んで混ぜても美味しいです。

（真岡委員会 伊澤）

8月4週 **200** 宮城県産冷凍あかもく

※MSGとはグルタミン酸ナトリウム、いわゆるアミノ酸のことです。





収穫してます!! 我が家の家庭菜園リポート

よつ葉だより No.645 (3月29日号)で「一緒に家庭菜園をはじめませんか?」と皆さんに呼びかけをしました。初めて取り組んだ組合員さんはいらっしゃいますか? 我が家のその後をお伝えします。

私は、ミニトマト(アイコ)、枝豆、トウモロコシ、かぼちゃ、タカノツメを植えました。(もちろんマリーゴールドも♪)



かぼちゃ、トウモロコシは芽かきをし、わきから出てきたつるはカットしました。カボチャは11個、トウモロコシは5本収穫しました。残念ながらトウモロコシは収穫した翌日、雨風により倒れてしまいました。



枝豆だけは虫対策としてネットを張りました。植えた後にネットを買ってきたのですが、長さを間違えて買ってしまい、植え替えをしました。後から植え替えは良くないと知り、どうしようかと思いましたが、なんとか収穫することができました。やっぱり量は少なかったのですが、粒はしっかりしていて味も濃く、美味しかったです。

雑草との戦いは大変でしたが、家族の協力もあって、農薬を使わず追肥無しで育てることができました。今年の経験をもとに、来年も挑戦したいと思います。

ご感想や報告などありましたら、お聞きしたいです。

(理事 石川)



ミニトマト(アイコ)はのびるのびる!

何回か間引きをしました。葉っぱにニジュウヤホシテントウがたくさんつき、食べられてしまいましたが、実には影響なく、ほっとしました。今でもたくさん収穫できています。



タカノツメはまだ緑色ですが、実はたくさんついていて、赤くなるのが楽しみです。

「フードバンクとちぎ 2020年度事業内容」

フードバンクとちぎは、特定非営利活動法人 理事長 古川明美さんを中心に、寄付された食品を、支援を必要とする人たちに提供する活動を長く続けております。よつ葉生協は、設立時から共に支援活動をすすめています。

コロナウイルス感染症の拡大で、仕事量が減ったり、失業する人が急増しています。今までもぎりぎりの生活が更に、一日一食がやっとという厳しい状況に追い込まれている実態があります。

食品寄贈者は小山市を中心に、企業、行政、個人の方が協力しており、よつ葉生協の分は、毎週土曜日に引き取りに来ていただいています。

提供先は、児童養護施設、乳児院、障がい者施設、子ども食堂、社会福祉協議会を通して個人支援や、多くの皆さんの所へ届けられています。

フードバンクの活動は、直接個人が引き取りに見える場合と、フードバンクのメンバーが配達する方法があります。コロナ禍で大学やフードバンクの施設へ直接個人が伺う様子が報道されていますが、コロナ禍の異常事態で、緊急を要する方が増え続けています。家族内で中心に働いていた方が、コロナ禍で失業すると家族全員のお食事が十分でなくなります。

フードバンクへのよつ葉生協からの提供品は、米、パン、麺類、野菜、果物、肉、魚、飲料、惣菜、菓子などです。野菜、果物(バナナ)、牛乳など、箱単位で日々入荷する食品が多い現状です。毎回計測して引き取り、お届け先にも明細を渡しています。

フードバンクとちぎの活動を通して、よつ葉生協が地域社会への寄り添う気持ちが形になっています。年間50回近く、毎週の活動の継続は決して楽ではないでしょう。続ける中で、現実を知り、何とかしたい、しなければならないという責任感と、見返りを求めないやさしさを活動から強く感じます。

よつ葉生協の地域の皆さんへの活動は、まだまだ微々たるものです。コロナ禍で、群馬、茨城、栃木の活動を募金で応援を続けています。ボランティア活動をされている方と協力しながら、「継続」をしていきます。組合員の皆さんの思いを届けて下さっているフードバンクとちぎのボランティアの皆さんに感謝とお礼を申し上げます。

(会長 富居)



栃木県包括連携協定による 栃木県の広報を掲載します



5月10日に栃木県と栃木県生活協同組合連合会（栃木県生協連）が「包括連携協定」を締結しました。今後、地域の活性化と共生社会の実現に向けた取り組みを、両者で協同して行っていきます。よつ葉生協は栃木県生協連の会員であり、包括協定の一環として、栃木県の広報をよつ葉だよりで月一回掲載していきます。なお包括連携協定は、茨城県生協連を通じて茨城県とも締結しています。お知らせすることができたら、よつ葉だよりで取り上げていきます。（理事 三輪）

組合員さんの声

職場である保育所で蚊取り線香を焚き始めました。金鳥のピレスロイド系です。これから3ヶ月毎日吸い続けるのかと思うと苦痛です。職員の1人が「気持ち悪くなる」と言うので、「蚊が死ぬんだから、人間の神経もおかしくなるよね」と言ってみましたが、理解はしてもらえませんでした。ムソウの蚊取りを使って欲しいですが、なかなか伝えられません。まだまだ、ピレスロイド系の怖さを知らない方は多く「金鳥=(イコール)蚊取り線香」と思っているのが現実です。1才~6才の子どもも3ヶ月間吸い続けると思うと恐ろしいです。
(前橋地区 T・Tさん)

9月1週でご案内します。
(今期最終) 主成分はどちらも除虫菊です。



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙をお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (7月3週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	7,600
群馬コロナウイルス対策募金 (861番)	3,400
茨城誰かのために募金 (862番)	1,300
合計	12,300

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (7月3週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	3,800
震災孤児を支援する募金 (910番)	23,000
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	5,700
合計	32,500

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品】内の【復興支援募金】をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

栃木県公式SNS情報配信中



県からのお知らせ、イベント情報など、とちぎの最新情報をお届けしています！

LINE

栃木県



追加はこちら

Twitter

栃木県広報課



フォローはこちら

メールマガジン



登録はこちら

さっそく登録して
とちぎの旬な情報を
チェック♪

問合せ 栃木県県民生活部広報課 028-623-2192